

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート(平成30年度分)

事務事業名	長後地域活性化事業費								担当課	部課名	市民自治部長後市民センター					
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	12	細目	002	説明	06	課等の長	神尾 友美	電話	6281

1. 事業概要

事業開始年度	平成 23 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	郷土づくり推進会議が主体となり地域の特性や個性を生かしながら、それぞれの事業に取り組み、地域のまちづくりを推進するもの。						
事業目的および必要性	郷土づくり推進会議において地域の課題を整理し、地域活性化事業に取り組むことで地域課題の解決を図り、住みよい郷土づくりを実現する。						
対象	1. 個人	市民(長後地区)				33,495 人	
根拠法令等	その他(要綱等)	藤沢市郷土づくり推進会議設置要綱					
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:)						
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金 : 長後すくすく応援事業, 地産地消推進・地域ブランド育成事業)						
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (補助金及び負担金:花いっぱい運動推進事業)						
藤沢市市政運営の総合指針2020							
重点施策名			指針体系コード		その他の計画との関連		
コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			4-3-101				
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること			2.8 点	2.7 点	2.79 点	2.91 点	
			点	点	点	点	

平成30年度 支出済額 1,301 千円	事業費節別内訳		
	費目	支出済額(千円)	主な事業内容
	報償費	130 千円	地域人材発掘・育成事業講師謝礼, 健康づくり普及事業講師謝礼
	需用費	735 千円	消耗品費, 施設修繕費, 印刷製本費
	負担金補助及び交付金	436 千円	地産地消推進事業補助金, 長後すくすく応援事業補助金, 花いっぱい運動推進事業補助金
【参考】 令和元年度 予算額 1,316 千円	事業費節別内訳		
	費目	予算額(千円)	主な事業内容
	報償費	152 千円	地域人材発掘・育成事業講師謝礼, 健康づくり普及事業講師謝礼
	需用費	764 千円	消耗品費, 施設修繕費, 印刷製本費
	負担金補助及び交付金	400 千円	地産地消推進事業補助金, 長後すくすく応援事業補助金, 花いっぱい運動推進事業補助金

2. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
正規職員等	2.10	2.11	2.10	2.06
再任用短時・任期付短時職員	0.00	0.80	0.80	0.80
非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	2.10	2.91	2.90	2.86

※正規職員等=正規職員+再任用職員(短時以外)+任期付職員(短時以外)+常勤嘱託職員

3. 事業実施内容・成果

平成30年度 事業実施 内容	①地域に根ざした健康づくりを普及させるために、身近な場所で気軽に参加できる事業を専門機関と協働で8回開催した。	
	②子育て世代を応援するため、地域で子育てを支援、応援している団体やグループ、ボランティア等が一堂に会し、「長後子育てメッセ」を2回開催した。(事業検討会議7回)	
	③地元農家や飲食店等と協力し、地場産の野菜や果実を用いた食品を販売する地産地消イベント「長後を食べよう！」を1回開催することで、商店街の活性化及び地産地消の推進に取り組んだ。(事業検討会議6回)	
	④地域コミュニティの次世代を担う人材の発掘や育成といった課題を解決するため、「ボランティアの交流会」を1回開催し、地域活動・ボランティア活動に係る情報交換を行うことで、ボランティア意識の向上を図った。(事業検討会議13回)	
	⑤住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくことができるよう、高齢者を支える「ちようご見守りネットワークシステム」の定着と推進を図るため、「ちようご見守りネットワーク通信」を2回発行した。	
	⑥長後市民センター内で保存している石造物群をはじめ、地区内の名所・旧跡の説明板を2か所4基設置し、ふるさと観光マップ「長後めぐり」を110部増刷した。(検討会議13回)	
	⑦長後地区の交通不便地域解消のため、新たな交通移動手段を検討するための調査や検討を行った。なお、平成30年度は、前年度実施のアンケート結果において、不便と感じている方の割合が20%以上ある19自治会に対し、アンケートを1回実施した。(調査・検討会議8回)	
	⑧花フェスタを1回開催し、花の広場の定例作業、長後駅東口及び市民センター北側広場の花壇植栽、プランターへの植栽等を行い、花があふれる地域づくり活動を行った。(花いっぱい運動推進委員会3回開催)	

成果目標	指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
			目標値	目標値	目標値	目標値	
成果目標	健康づくり普及事業の参加者数	人	175	200	300	300	
	長後子育てメッセの参加者数	人	440	440	440	440	
参考又は上記指標名の設定ができない理由							
活動実績	指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	
活動実績	健康づくり普及事業の実施	回数	4	5	9	8	
	長後子育てメッセの開催	回数	1	2	2	2	
成果実績	指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	
成果実績	健康づくり普及事業の参加者数	人	130	234	223	130	
	長後子育てメッセの参加者数	人	390	451	456	350	
数値で表せない効果							
地域の特性を活かした多種多様な事業による相乗効果によって、地域全体の活性化に寄与した。							

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
コスト	行政費用(フルコスト) A	21,793	24,178	23,519	23,583	
	(1)現金を伴う支出 (千円)	22,221	24,213	24,080	23,930	
	事業費(支出済額-②報酬合計)	2,172	871	962	1,301	
	償還金利息	0	0	0	0	
	人件費合計(①+②+③)	20,049	23,342	23,118	22,629	
	職員数(常勤 非常勤)	2.10 0.00	2.91 0.00	2.90 0.00	2.86 0.00	
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167	
	①職員給与合計(常勤)	18,984	22,193	22,178	21,662	
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0	
	③退職金相当額	1,065	1,149	940	967	
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-428	-34	-561	-347	
	①減価償却費	0	0	0	0	
	②退職給与引当金繰入額	-428	-34	-561	-347	
	③不納欠損額	0	0	0	0	
④その他()	0	0	0	0		
行政収益(事業収入) B	0	0	0	0		
(3)現金を伴う収入 (千円)	0	0	0	0		
①分担金及び負担金 c	0	0	0	0		
②使用料及び手数料 d	0	0	0	0		
③国庫支出金	0	0	0	0		
④県支出金	0	0	0	0		
⑤その他()	0	0	0	0		
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0		
収入未済増減額	0	0	0	0		
収支差額(純費用)A-B E	21,793	24,178	23,519	23,583		
分析指標	項目	健康づくり普及事業の参加者数 F	130	234	223	130
	単位		人	人	人	人
	1単位あたりの総費用 A/F (円)		167,638.46	103,324.79	105,466.37	181,407.69
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)		51.81	56.88	55.02	54.93
受益者負担率 (C+D)/A (%)		0.00	0.00	0.00	0.00	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員、再任用職員、任期付職員、嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成29年度末時点の課題	地区の交通不便地域解消のため、新たな交通手段を検討するための調査や検討を行うことが求められている。
(2) (1)解決のための平成30年度の取組	平成29年度実施のアンケート結果において、割合が20%以上不便と感じている19自治会に対してさらにアンケートを行った。
(3) 平成30年度末時点の課題	平成29年度実施のアンケート結果において、割合が20%以上不便と感じている19自治会5,685世帯に対して、アンケートPart2を実施し、回収率48.7%であった。今後は、バス事業者への既存バス路線の改善要望をはじめとした検討を実施することが課題。
(4) (3)解決のための今後の取組	2回実施(平成29・30年度)したアンケート調査結果及び皆様から頂いたご意見、ご要望を参考に、地域の実態や特性を把握し、地域における公共交通課題(要望のある地区、ルート、課題の地域共有)をまとめ、バス事業者への既存バス路線の改善要望をはじめとした検討を実施する。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	<input type="radio"/> ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	<input type="radio"/> ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの <input type="radio"/> ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間	<input type="radio"/> ア=恒久的に実施するもの <input type="radio"/> イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…平成30年度支出済額	<input type="radio"/> ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 <input type="radio"/> オ=5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	<input type="radio"/> ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 オ=10%未満
		⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合	<input type="radio"/> ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 エ=50～80%未満 <input type="radio"/> オ=80%以上
		(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
		2. 市民等サービス(その他)	

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	<p>少子化、急激な超高齢化社会の到来を背景に、老老介護、買い物弱者問題、災害時の助け合い等の地域課題の増大や複雑化、自治会未加入、役員の担い手不足等の地域との関わりの希薄化といった共通の地域課題がある。</p> <p>長後地区においても、各地域団体において担い手となる人材が高齢化している現状がある。地域の絆、コミュニティの必要性の認識は高まっているものの、現役世代は仕事、家庭が優先されるため、地域活動への参加はあまり見込めない状況がある。</p>	
他市等の事例	<p>他市においても、地域市民と行政が協働し、地域のまちづくりへの取組を行っている事例がある。</p>	
市民ニーズ	把握方法	<p>長後地区全体集会 1回開催</p>
	把握内容	<p>①高倉下長後線の進捗状況について、工期をどれくらいに考えているのか。</p> <p>②長後725号線の歩道整備の進捗状況について、平日朝、長後駅交差点付近において車が渋滞しており、長後駅へ向かうバス利用者は大変である。本当に整備できるのか。</p> <p>③長後地区内に郷土資料館をつくってほしい。</p>
	対応等	<p>①令和2年度に着手を目指している。用地買収等に時間を要することから着手からおよそ10年～20年を見込んでいる。</p> <p>②駅の周辺は家屋が密集しており、権利者がたくさんいらっしゃる。1宅地ごとに丁寧に説明して着実に対応していき、令和5年度までに優先整備区間を完成させていきたいと考えている。</p> <p>③民間の資料館や商店街の空き家活用等、手法も含めて今後検討課題になろうかと捉えている。</p>

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	<p>地域住民と行政が協働し、地域まちづくり事業を進めて地域の課題に取り組むことは地域コミュニティの形成にとって大変重要である。それぞれの活動を継続的に取り組むことができていることは、地域コミュニティの形成の一助となっている。</p>	
今後の方針	まちづくりテーマ	④ 健康で豊かな長寿社会をつくる
	事業の方向性	現状維持
	<p>郷土づくり推進会議が主体となり、地域の特性や個性を活かしながら、地域のまちづくりを推進するために引き続き事業に取り組んでいく。</p>	

9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
1	郷土づくり推進会議委員の選定について	無	無	1	1
2	郷土づくり推進会議会議の開催について	無	無	1	1
6	地域市民の相談及び要望の処理並びにこれらに係る連絡調整	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

10. 部長確認欄

部名	市民自治部	氏名	藤本 広巳	確認日	2019/8/29
----	-------	----	-------	-----	-----------